

米国及び英国両政府が合同で実施した臨界前核実験に抗議し、実験計画撤回を求める意見書

米英両国政府は、去る2月15日、米国ネバダ州の地下核実験場において、両国合同による臨界前核実験を実施しました。

世界平和の祭典であるソルトレーク冬季五輪開催中に行われた今回の実験は、世界で唯一の被爆国である我が国民の核兵器廃絶に対する願いを裏切るばかりか、国際世論を無視した暴挙であり、断じて許される行為ではありません。

両国政府は、1996年の国連総会で採択した「包括的核実験禁止条約」(CTBT)に抵触しないとしていますが、世界の恒久平和を希求する我々は、人類の未来と次代を担う子どもたちのために、たとえどのような核実験であろうとも容認することはできません。

よって、千代田区議会は区民とともに、米英両国政府が合同で実施した臨界前核実験に対し強く抗議し、日本政府として今後いかなる実験計画も撤回するよう働きかけることを求めるものです。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

平成14年 2月22日

千代田区議会議長

内閣総理大臣 宛